

令和元年（2019年）5月9日

農学部が農業女子プロジェクト チーム”はぐくみ”に参加 ～地域がはぐくむ未来の農業女子PJがスタートします～

【本件のポイント】

- 農業女子プロジェクトと連携することで、農学部生の半数を占める女子学生に農業の魅力を伝え、農業を志す学生の発掘や動機付け、意識向上のための取り組みを行います。
- ①農業女子プロジェクトメンバーを招いての学生への講義の実施、②メンバーのもとでの学生が体験農業実習等・販売研修の実施、③メンバーの農場に学生が訪問して意見交換の実施などに取り組みます。
- 加入は東北初、国立大学初です。



【概要】

3月29日、農学部は農林水産省が推進する農業女子プロジェクトの取組・未来の農業女子を育成する「チーム”はぐくみ”」にパートナー校として参加しました。チーム”はぐくみ”への参加は東北で初、国立大学で初になります。

折しも2月15日農業女子プロジェクトメンバーが中心となって「やまがた農業女子ネットワーク」が設立され、より連携しやすい環境も整いました。

4月16日に農学部において「山形大学農学部×やまがた農業女子ネットワーク」と題して、学生23名、農業女子12名が参加し、この連携に対しての両者の期待を伝え合い、その後数人ずつのグループに分かれてワークショップ「あなたの夢を教えてください」を行いました。

参加学生からは、「進路の選択肢の一つに農業も加わる機会になった」、「農業女子の方々の生の声を聞くことができて、今までの固定観念や先入観が一新された」、「他の学生や農業女子の方々が農業のこれからについて考えていて、自分の将来もより詳しく考えたいと思った」などの多くの前向きな感想、また農業女子からは「学生さん達がそれぞれしっかりした考えを持っていて、農業の先は明るい！と思えた」、「学生さんの考え方がしっかりしていて大変頼もしく思った」など多くの感想があり、「次はいつこのような機会があるのですか？」との問い合わせもありました。

今後、講義、実習、研修、意見交換などの交流・連携を深めていきます。

【背景】

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。参加する農業女子は全国で750名を超え、参画企業は34社を数えます。

- ・やまがた農業女子ネットワークが2月15日に設立され、35名が加入し、学ぶ場、連携を求めています。
- ・農学部の学生はほぼ半数が女性です。
- ・農業労働力の半数近くが女性であるのに、農業経営者や組織役員は女性が極端に少ないのが現状です。
- ・若者の農業就業が少なく、今後、農業・農村を維持することも難しくなります。

【今後の展望】

農村地域に位置する農学部という利点を活かし、やまがた農業女子ネットワークを中心に、講義に農業に取り組む農業女子の活躍を取り入れ、インターンシップや実習、研修を農業女子のもとで行い、学生の職業選択肢に農業を加えられるように、そして農業女子がスキルを高められるように連携を深めていきます。

お問い合わせ

学術研究院教授（農学）小沢互・藤科智海

TEL 0235-28-2944 メール wo1995@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp



やまがた農業女子ネットワーク

発 足 : 平成31年2月15日 (金)

メンバー : 37名 (平成31年6月1日現在)

構 成 : 農業女子プロジェクトメンバーを中心とした山形
県内の女性農業者で組織する地域ネットワーク

活 動 : 経営発展のための勉強会や講習会の開催
(随時) 他



目 的 : やまがた農業女子ネットワークは、自らの意識改
革・経営発展、女性農業者の存在感向上、職業として農業を選択する若手女性の増加等に資するこ
と、及び山形農業の発展に資することを目的とする。

応援団 : やまがた農業女子ネットワークの活動に賛同し、支援や協力の意志を有する企業・団体等を随時募
集する。(平成31年4月1日現在、1企業が登録している)

事務局 : 東北農政局経営・事業支援部 経営支援課 (022-221-6217)

http://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/sankaku/yamagata_NW.html

活動状況

	
平成31年2月15日 (金) メンバーによるグループワークの開催	平成31年3月5日 (火) 第1回勉強会